

令和元年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第5号（水稻）

令和元年7月30日発表
 広島県西部農業技術指導所
 対象期間 令和元年7月下旬～8月上旬



1			予報内容（8月上旬まで）		
病害虫名			現況	予報	防除上の注意事項
穂いもち	北部	早生	少 ※稾いもち	少	◇穂いもちへの伝染源となるため、葉いもちが発生している場合は、直ちに粉剤、液剤で防除する。 ◇出穂前後の降雨により穂いもちの発生は助長される。穂ばらみ期、穂ぞろい期の穂いもちの基幹防除を徹底する。 ※中部地域とは中東部、中西部の2地域のこと。
	中部		やや少 ※稾いもち	やや少	
葉いもち	中部	中生	やや少	並	◇中国地方1か月予報では、今後発生に好適な気象条件となっている。 ◇昨年度、発生が多かった場合は特に注意する。 ◇分げつ数の多い場合は、発生しやすいので注意する。 ●要防除水準：穂ばらみ期の発病株率が早生品種では10%以上、中生品種で20%以上。
	南部		並	並	
紋枯病	早生	並	並	●要防除水準：幼穂形成期から穂ばらみ期に10頭/株以上。	
	中生	少	やや少		
セジロウンカ		並	やや多	◇中国地方1か月予報では、今後発生に好適な気象条件となっている。 ※ 令和元年度 広島県病害虫発生予察情報 技術情報第3号を参照。 ●要防除水準：飛来後第2世代幼虫5頭/株以上。	
トビロウンカ		多	多	◇早生は、出穂が早いので防除時期を逸しないようにする。 ◇出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになる。早生では除草を控える。中生では出穂2週間前までに除草を終える。 ◇予察灯（呉市安浦町）で誘殺数が多くなっているため注意する。 ※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホリハリカメムシなどの大型のカメムシ類。	
斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類、その他加害種）※	早生	-	やや多		

(1) 葉いもち

◆現況調査結果（北部：少，中部早生：やや少，中部中生：やや少，南部：並）

	北部・早生			南部・中生		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率 (%)	0	51.5	16.7	60.0	54.4	0
平均発生程度	1.00	1.18	1.15	1.04	1.17	1.00

	中部・早生			中部・中生		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率 (%)	14.3	39.9	28.6	25.0	52.6	50.0
平均発生程度	1.01	1.12	1.02	1.02	1.15	1.22

(2) セジロウンカ

◆現況調査結果（並）

	本年	平年	前年
発生地点率 (%)	96.2	78.4	32.0
平均発生程度	1.41	1.57	1.08

向こう1か月の気象は発生に好適となっている。

【予察灯（呉市安浦町）での7月21日までの誘殺数累計】本年4頭 平年49.4頭 前年1頭。

(3) トビイロウンカ

◆現況調査結果（多）

	本年	平年	前年
発生地点率 (%)	7.7	0	0
平均発生程度	1.01	1.00	1.00

向こう1か月の気象は発生に好適となっている。

(4) 斑点米カメムシ類

【予察灯（呉市安浦町）での7月第4半旬から第5半旬までの誘殺数累計（アカスジカスミカメ）】

本年 45頭 平年 52.1頭 前年 135頭。

◆牧草地すくい取り調査結果については発生予察情報第3号を参照する。

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

「多」：1番目（最多年）と同程度以上

「やや多」：2～3番目と同程度

「平年並」：4～7番目と同程度

「やや少」：8～9番目と同程度

「少」：10番目（最少年）と同程度以下

区分	多	やや多	並	やや少	少					
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3

その他の病害虫の発生状況（現況調査：7月23～24日、26地点調査）

病害虫名	現況	防除上の注意事項等
ヒメトビウンカ	並	縞葉枯病を発病した株は抜き取る。
フタオビコヤガ (イネアオムシ)	少	穂ばらみ期防除を基本とする。
コブノメイガ	並	被害株率20%以上の場合防除を行う。

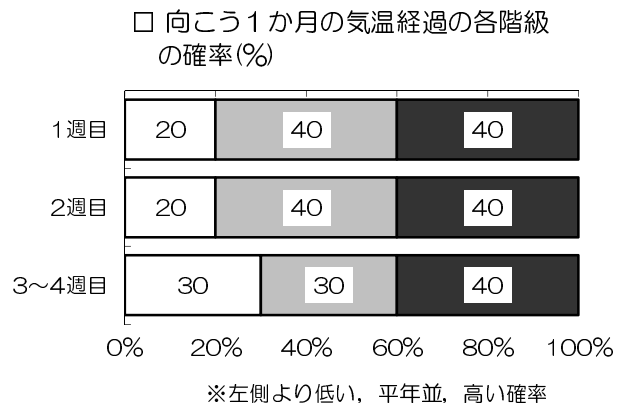
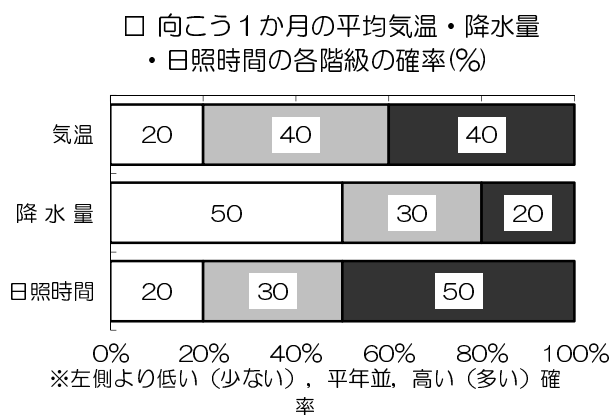
4

気象情報

中国地方1か月予報（広島地方気象台7月25日発表、7月27日から8月26日までの天候見通し）

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の気象は、平均気温は平年並か高い見込みです。降水量は少ない確率が50%です。日射量が高い確率が50%です。

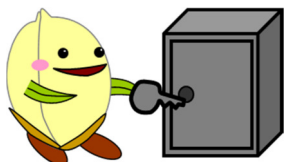


6月1日から8月31日まで、**農薬危害防止運動** 実施中！



農薬を使う際は、容器のラベルをよく読んで、

使用方法や注意事項を守り、農薬による危害と事故を防ぎましょう。



粃之進



りもん

○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索

または



○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

(東広島市八本松町原 6869 tel : 082-420-9662)